

中国語入門 Introduction to Chinese

素養科目 1年／前期 1単位 選択必修科目

科目責任者 大立 智砂子、梅川 純代
授業担当者 A・C組：大立 智砂子、B組：梅川 純代

■教育目的（各クラス共通）

中国語を初めて学ぶ人のための、入門レベルの授業です。中国文化は、中医学や本草学に代表されるような独特の人体観や自然観を有し、世界的に見ても極めてユニークな存在です。古来わが国は言語・哲学・医学・芸術など様々な面でその文化の影響を受けてきました。その形跡は、今なお日本文化の中にも見出すことができます。中国という国の言語を学習するとともにその文化に触れ、異文化に触れる喜びを知ることを目指します。

■学習到達目標（各クラス共通）

- 1、現代中国の漢字表記である「簡体字」を理解する。
- 2、ローマ字による発音表記「ピンイン」を理解する。
- 3、発音の基礎、特に中国語の特徴ともいえる「声調」を身につける。
- 4、基本文型(名詞・動詞・形容詞の各述語文)を中心に、初歩の文法をマスターする。

■授業内容

A・C組 大立 智砂子

- 中国語の発音を学ぶ。
- ピンイン(中国語の発音表記)を学ぶ。ピンインを見て発音できるように練習する。
- 中国語の初歩文法を学び、簡単な文章を理解する。
- 中国文化に触れ、日本との関わりについて学習する。

準備学習（予習・復習）：予習：次の課の本文、例文を訳し、練習問題を解いておく。／復習：単語(漢字、ピンイン、意味)を覚え、文法事項の確認をする。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末テスト 30 %、期末課題 30 %、授業時の課題など 40 %

教科書：『(新訂)学ビテ時二之ヲ習フ～中国語入門』相原 茂・郭 雲輝・保坂 律子 共著(好文出版)

B組 梅川 純代

教科書の前半を学習します。

- No 1～3 発音の基礎
- No 4～6 あいさつ言葉、名詞述語文など
- No 7～9 動詞述語文、形容詞述語文など
- No 10～12 存在の表し方、前置詞など

No 13～15 数・月日・曜日・時刻・金額の表し方、連動文など

準備学習（予習・復習）：予習：教科書付属のCDを聴く。／復習：勉強した章の本文・会話文の分解を確認する。CDを聞いて暗唱の練習をする。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験(80 %)、小テストなど(20 %)で総合評価する。

教科書：『極める中国語 初級編』内田 慶市、張 欧(同学社)

『中日辞典』(小学館)[任意]